

みんなが主役! みんなでつくる 人にやさしいまち横手



横手市 社協だより

51号
2016.10.1

横手市社会福祉協議会

自分にできることを探しに
ひと夏の探検



7月27日(水)、特別養護老人ホーム平寿苑において小学校児童を対象にした“夏休みふくし探検隊”が行われ、施設や設備の見学、福祉用具の体験のほか、施設のご利用者とのレクリエーションで交流しました。児童たちはご利用者との交流の中で、相手を思いやることの大切さに気付いたようでした。

(ふくし探検隊は2日間行われ、2日目の様子については4ページに掲載されています。)



おかげさまで70周年



● 横手市共同募金委員会からのお知らせ ●

昭和22年(1947年)、戦後の混迷する社会の中、生活に困った人たちを救済しようと1回目の「赤い羽根共同募金運動」が行われました。

そして、平成28年(2016年)、少子高齢化やつながりの希薄化などの問題を抱えている今、70回目を迎える運動が始まります。

70年 想いをつなぐ 赤い羽根

平成28年度

赤い羽根共同募金運動

平成28年 10月1日～12月31日

運動期間

～10月は運動強調月間です～

ご協力をお願いします

今年度の運動に寄せられた募金の一部は、平成29年度に横手市内で行う地域福祉活動などに使われます。

横手市社会福祉協議会が行う地域福祉活動

- いきいきサロン事業…結びつきや支えあいを深めるための地域の居場所づくりを支援
- 福祉教育活動推進支援事業…児童生徒の福祉教育活動や地域との交流活動等の支援
- 福祉出前事業…地域や学校等が開催する福祉に関する講座、研修への支援

横手市内の福祉団体が行う地域福祉活動

- 助成内定団体…朗読ボランティアぬくもりの会、アンサンブル・リベラ、おはなしぼぼ、横手地区ボランティア連絡協議会、六星会、傾聴ボランティアあすなる、平鹿町ボランティア湧水会

横手市内の団体・事業所等の地域福祉活動及び整備

- 助成内定団体…よこて市商工会女性部、NPO法人そら

※詳しい使いみちは、横手市共同募金委員会が10月1日に発行する「よこて赤い羽根だより」をご覧ください。



市内の福祉団体等が行う地域福祉活動に **372,000円**

おはなしぼぼ **500,000円**

傾聴ボランティアあすなる **220,000円**

横手地区ボランティア連絡協議会 **500,000円**



助成事業

平鹿地域内の単身高齢者や介護福祉施設入所者等へ毎月、励ましのがきの送付

500,000円

平鹿町ボランティア湧水会

ふれ愛塾 **500,000円**

地域のつながりを深め、自己実現のために地域住民や施設入所者等を対象とした交流会の開催

はら・あ・はら **500,000円**

障がい児者と地域住民が交流し、心のバリアフリーを進めるための、調理体験などの食育活動

助成事業

地域のサロンや施設入所者の生きがいのある生活応援のための芸術披露

500,000円

朝友会



助成事業

楽しい時間を過ごしていただくため高齢者向けの演目によるアンサンブル演奏会の開催

500,000円

アンサンブル・リベラ

横手市社会福祉協議会が行う地域福祉活動に **8,832,375円**



いきいきサロン事業

7,535,000円

各地域の住民や障がい児者を対象とした約一二〇サロンの助成金(上限六万円)の交付、サロン参加者への情報紙の発行(年四回)、各地域の世話人による会議費(年一〜二回程度)など



福祉教育活動推進事業

961,375円

市内の福祉教育推進校二十三校への助成金(上限四万円)の交付など

ふれあいの手紙事業

198,000円

手紙・はがきの郵送代(約三千通)など

福祉出前事業

69,000円

応募用紙代(約五千五百名分)、表彰経費(賞状、記念品)など

平成二十七年度 赤い羽根共同募金運動

募金実績のご報告

横手市内の募金実績額

15,164,607円

昨年十月から十二月にかけて行われた「平成二十七年度 赤い羽根共同募金運動」では、戸別募金や街頭募金、募金百貨店プロジェクト、寄付つき自動販売機などで寄せられた募金を合わせると、1,500万円を超える浄財が寄せられました。この募金の一部は、今年度、市内の次の活動に使われています。



わたしのまちの **いきいきサロン**

8.6土 新町いきいきサロン(平鹿)

地元の夏祭りでもコーラス三曲と手ぬぐい体操を披露しました。この日のために、六月



普段のレクリエーションでは、皆さんが笑顔で気持ちよく、より楽しく参加できるように工夫をしています。また、サロンで元気な姿をお互いに確認したり、情報交換するなど、地域の見守り活動にもつながっています。

世話人... 加賀谷 浅治さん

9.5月 大慈寺谷地いきいきサロン(大雄)

市の保健師による認知症予防講話とタッチパネル検査を行いました。サロンでおよ



参加者の皆さんからは「サロンでみんなの顔を見て、色々お話しすることが楽しみ」と言っていたみたいです。地域の想いを大切にしながら、皆さんが元気に楽しく参加できるサロンにしていきたいと思えます。

代表世話人... 高垣 静子さん

横手

“聞く”楽しみと“書く”喜びを

聞き書きボランティア 冊子贈呈の会



自分たちが作成した冊子を読み上げ、お話しいただいた方に贈呈しました

9月9日(金)、横手・安田原下町内会館において、横手高校JRC同好会の生徒から地区の高齢者へ冊子の贈呈が行われました。

これは秋田大学横手分校が主体となって取り組む「聞き書きボランティア」の一環として行われたもので、8月に生徒が同会館を訪れ、高齢者から思い出や昔の生活の様子を聞き、その人自身が語る“物語”のような文体で冊子にまとめたものです。

高齢者から「自分の思い出深い出来事が冊子となりうれしい」との声があったほか、生徒からは「昔の生活や出来事を知ることができ貴重な体験となった」との感想がありました。

こうした世代を超えてつながる貴重な機会を、大学や高校とも協力しながら、各地域に普及していきたいと考えています。

※平成高校インターアクト部の生徒も平鹿・野田地区で同様の活動を行いました。

雄水苑 8.29月・31水



たいゆう緑花園見学
二日間ともお天気に恵まれ、きれいな花を眺めながら会話も弾み、ゆったりとした時間を過ごしました。

大森

声かけ訪問で安心をお届け

大森地区福祉協力員会 安全・安心パトロール運動

8月から9月にかけて、大森地区福祉協力員会ではお一人暮らし高齢者宅への声かけ訪問活動を行っています。

訪問時には、熱中症予防の注意喚起のほか、生活上の困りごとなどを聞き取りしましたが、買い物の不便さや移動手段の心配などの声がかかれ、改めて地域の生活課題を把握する機会となりました。今後はこうした声を大切に、地域に必要なサービスや支援活動等の取り組みについて考えていくこととしています。

なお、訪問先からは「運動期間中に限らず、いつも声をかけてくれるので安心して生活できる」との声も多く、この運動をきっかけとして日頃の見守りにもつながっており、こうした住民主体の福祉活動と一緒に「安全・安心な地域づくり」を進めていきたいと思えます。



粗品をお渡ししながら注意喚起や困りごとの聞き取りを行いました

雄風荘 8.17水~19金



横手明峰中学校職場体験
二年生の生徒四名が雄風荘でデイサービスの職場体験を行い、介助のお手伝いやご利用者との交流を行いました。

福祉のこころを育む探検隊

夏休みふくし探検隊



実際に避難した高台まで上がりガイドさんから当時の様子を伺いました

7月27日(水)と8月5日(金)、夏休み中の小学生と保護者を対象としたふくし探検隊が行われました。

1日目は平寿苑において施設見学やご利用者との交流を行いました。(表紙参照)

また、2日目は東日本大震災で被害を受けた大船渡市を訪れ、災害ボランティアセンターの運営体験やボランティアガイドから当時の様子や復興状況などの説明を受けました。

実際に当時の避難ルートも体験しましたが、狭くて急な階段を上がって高台まで行かなければならず、「高齢者などの場合は大変だと思う。そういう時に助けられる人になりたい」との声も聞かれました。

今回の探検隊を契機に、次代を担う子どもたちの福祉活動への参画を期待しています。

平鹿 9.8木



平鹿中学校創学講話会
本会職員が福祉に関心のある生徒の前に、ボランティア活動に関するお話や高齢者疑似体験の指導を行いました。

善意

ありがとうございました

平成28年7月16日～8月31日受付分

※善意は寄付金や物品等をお寄せいただいた皆様、ボランティア活動にお越しいただいた皆様をご紹介します。

【横手福祉センター受付】

- 村上 陸 様 (寿 町)
- 安藤 詔 子 様 (上真山)
- 佐藤 良 子 様 (南 町)
- 横手歌謡会 様
- 横城小町 様
- 秋田吟詠会横手教場 様

【雄物川福祉センター受付】

- 大和谷 タ エ 様 (大 巻)

【十文字福祉センター受付】

- 十文字民生児童委員協議会 様
- 資生堂ジャパン(株) 秋田オフィス 様

【山内福祉センター受付】

- 昔語り つむぎの会 畑 則子 様

【大雄福祉センター受付】

- 大雄コーラスメート 様

【平寿苑受付】

- 松尾 貴 臣 様 (千葉県千葉市)
- 父ちゃんの楽校 様
- アンダンテの会 様
- 傾聴ボランティアささやき 様

【雄水苑受付】

- 高原 綾 子 様 (横手・安田)
- 木村 順 子 様 (横手・駅前町)
- 佐々木 一 美 様 (柏 木)
- 遠藤 桃 子 様 (雄物川高校)
- 出川 奈々子 様 (雄物川高校)
- 児玉 裕 香 様 (雄物川高校)
- 佐々木 美 咲 様 (雄物川高校)
- 佐藤 琴 香 様 (雄物川高校)
- 佐藤 二知翔 様 (雄物川高校)
- 佐藤 勇 一 様 (南 田)
- 福岡 順 一 様 (南 田)
- 佐藤 昭 逸 様 (東 里)
- 佐々木 保 様 (造 山)
- 父ちゃんの楽校 様
- 傾聴ボランティアひまわり 様
- とっぴんぱらりのプー 様
- 雄物川地域老人クラブ連合会 様

- 雄物川町美容組合 様

【憩寿園受付】

- 堀田 弘 子 様 (本 町)
- 渡部 かおり 様 (横手・六ノ口)
- 鈴木 友里美 様 (増田高校)
- 齋藤 楓 花 様 (増田高校)
- 高階 紀 花 様 (増田高校)
- 高橋 謙 様 (二ツ橋)
- 十文字第二小学校 4年生 様
- 十文字民生児童委員協議会 女性部 様
- 和泉青果 様
- スーパーモールラッキー 様
- おはなし ぽぽぽ 様
- アンサンブル・リベラ 様
- JA秋田ふるさと青年部 様
- 傾聴ボランティアささやき 様



千葉県の音楽活動家、松尾貴臣様より平寿苑で歌を披露いただきました



地域福祉権利擁護事業 (日常生活自立支援事業) ってどんな事業なの？

利用まで

相談 電話などでご相談ください
訪問調査 専門員がお宅を訪問しお話を伺います

書類作成 本人の希望を伺い必要な書類を作成します

契約 申込者と社会福祉協議会で契約をかわします

サービス開始 生活支援員がサービスを提供します
 ※援助には利用料 (一回 1,500円～) が発生します。

◎ 成年後見制度とは何が違うの？

A 権利擁護事業は本人が社会福祉協議会と契約することでサービスを利用できる事業です。一方、成年後見制度は家庭裁判所が審判によって選任した方 (後見人等) が、本人の代理となって支援する制度です。権利擁護事業では行うことができない、財産管理や不当な契約を解除することもできます。

◎ 今度は…「福祉の資金貸付事業ってなに？」

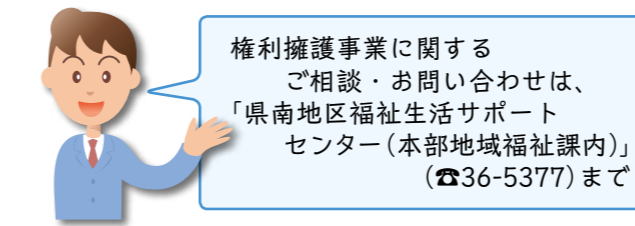


◎ 誰でも使えるの？

A 判断能力が弱まってきた高齢者や知的障がい、精神に障がいのある方が利用できますが、利用には契約が必要になります。

◎ どんなことをしてくれるの？

A 福祉サービスの利用援助や情報提供、助言を行います。また、公共料金や家賃支払いなどの日常的な金銭管理や、通帳や年金証書などの重要書類を預かるサービスも行うことができます。また、サービスの提供はお住いの地域に配置されている生活支援員が行います。



今回は、就労支援の一例をご紹介します。

人間関係のストレスから仕事を退職した四十代の男性Aさんの事例(一部脚色をしています)

人間関係のストレスから、不安を感じる症状がひどくなり、営業の仕事をしたAさん。しかし、生活が苦しく、再就職を考えるようになった。

本人は何事にもまじめに打ち込む努力家であった

窓口の相談支援員、就労支援員が不安を受けとめ寄り添う「伴走型」の支援を行うことで、「できない」ことが「できる」ようになり、Aさんの自信回復につながりました。

今後も事例を通じて窓口の支援内容を紹介していきます。

● 横手市くらしの相談窓口 ●
 横手市役所本庁舎1階9番窓口
 ☎32-61001



が、細かい事や他人の目や気になりなかなかなか外出することもできないなどの症状が進行し病院へ通院。回復の兆しを自覚し仕事を探す意欲がわいてきたので、医師の勧めもあり『くらしの相談窓口』へ相談した。

窓口ではAさんの状況や希望を聞き、ハローワークへ同行するなどの支援を行った。徐々に本人も前向きとなり、結果、新しい仕事に就くことができた。しかし、職場環境や慣れない仕事への不安がまだあり、Aさんの状況を確認しながら、現在も仕事への定着に向け支援を継続している。

福祉を詠めば福来たる

ふくし川柳

テーマ 運動

- 一、身体からだより頭の運動 五七五 ペンネーム 宏ちゃん/増田
- 一、孫走り 声張り上げる運動会 阿部 昭二さん/増田
- 一、ミニデイでらくらく体操 汗流し 芦沢 洋子さん/大森
- 一、運動す ボクを励ます 万歩計 小川 正雄さん/十文字
- 一、ミニデイでお口の体操 アイウエオ 杉田 ミヨノさん/山内
- 一、朝起きて 背伸びの運動 深呼吸 藤田 ミエさん/山内
- 一、年老いて その日暮らしの 軽運動 斉藤 正子さん/大雄

ご応募ありがとうございました

次号 (12月1日発行予定) テーマは…「和(わ)」

家族や友達の絆、地域とのつながりなどを川柳にしてみませんか？次回のテーマは「和(わ)」です。

【応募方法】
 作品 (1人2点まで) と氏名 (ペンネーム可)、連絡先をご記入の上、ハガキやFAX、メール等でご応募ください。(様式は問いません)
 〒013-0072
 横手市卸町5-10
 横手市社会福祉協議会
 「ふくし川柳」係
 FAX : 36-5388
 e-mail : tiiki@yokote-shakyo.jp

【締切日】
 平成28年11月4日(金)

たくさんの応募作品の中から数点をご紹介します。(順不同)

ふくしな人たち

増田 増田地域老人クラブ連合会 おもしろ隊

増田地域老人クラブ連合会の文化活動の一つとして、同連合会会長を隊長として平成27年に結成された「おもしろ隊」。各地域のいきいきサロンやミニデイサービス、福祉施設などでオリジナルの寸劇と歌や踊りを披露するボランティア活動を行っています。

同隊の寸劇は、消費者被害から高齢者を守るために注意を呼びかける内容のほか、家族愛をテーマとした人間模様を描いた内容など、ユーモアあふれるセリフやアドリブ、コミカルな動きで伝えています。誰にでもわかりやすく、親しみやすい内容の劇は大変好評を得ており、各



社会問題をコミカルな演出で楽しく、わかりやすく伝える劇は大変好評です

方面からの出演依頼も多くなっています。
●劇に出演する傍ら脚本も手がける高橋春子さんは「見ていただいた方が楽しく笑顔になり、心が救われる人が一人でもいてくれることを願っています」と、明るい地域づくりを心がけながら活動されています。
「おもしろ隊」の活動が、高齢者の健康増進や地域を元気にする取り組みとして、益々発展していくことを期待しています。

「ふくしな人たち」は地域で福祉活動や社会貢献を行っている方や団体、企業など、また自立更生や生きがいづくり等に努められている方々を紹介します。

お知らせシート

横手市共同募金委員会からのお知らせ
赤い羽根共同募金「募金百貨店プロジェクト」

赤い羽根共同募金の百貨店になっていただけた企業等を募集しています。

※企業にとっては共同募金との連携により販売促進や地域貢献につながり、顧客は負担なく募金活動に参加できる取り組みです。

◆対象／企業、事業所、商店、福祉団体など

◆募集期間／随時

◆内容／赤い羽根共同募金との協働により寄付つき商品の販売や企画を行う。

☑特定商品を一個販売する毎に10円を寄付

一定期間中の売上の5%を寄付

◆問い合わせ／横手市共同募金委員会事務局
(本部地域福祉課内) ☎36-5377

第12回 横手市社会福祉大会のご案内

日時 10月12日(水) 13時～16時

会場 秋田ふるさと村・ドーム劇場

内 容

- 【式典】各種表彰、大会宣言
- 【実践発表】「小松川地区のみんなで支えあう地域活動」
- 【講演】「生涯現役を目指す!健康術」
～笑い与健康はエアリハで～
“お笑い理学療法士”日向亭 葵氏



どなたでも参加できます。 **入場無料**

介護職員募集

本会が運営する特別養護老人ホームやデイサービスで働く介護職員を募集しています。

※詳細については下記へお問い合わせください。

●お問い合わせ ● 本部総務課 ☎36-5377 人事担当：佐藤

社会福祉協議会は、住民の皆様の参加と関係機関・団体との協力により「住みよい福祉のまちづくり」を進める、社会福祉法(第109条)に定められた民間団体です。

横手市社会福祉協議会本部 TEL.36-5377

横手福祉センター TEL.33-8668

増田福祉センター TEL.45-4848

平鹿福祉センター TEL.24-3283

雄物川福祉センター TEL.56-2072

大森福祉センター TEL.26-3274

十文字福祉センター TEL.42-5858

山内福祉センター TEL.53-3009

大雄福祉センター TEL.52-3311

(市外局番 0182)

特別養護老人ホーム平寿苑 TEL.38-7011

特別養護老人ホーム雄水苑 TEL.22-4561

特別養護老人ホーム鵜寿園 TEL.42-2510

横手市くらしの相談窓口 TEL.32-6101

横手市社協だより ●発行●横手市社会福祉協議会 〒013-0072 横手市卸町5番10号 TEL.36-5377 FAX.36-5388

E-mail honbu@yokote-shakyo.jp ホームページ <http://www.yokote-shakyo.jp/>